

—わたしに  
つながっていなさい—  
ヨハネ福音書15章4節  
北陸学院理事長・学院長  
楠本 史郎



前任の井上良彦先生につづき、本年4月に学院長に就任いたしました。

いま、日本の高等教育は岐路にさしかかっています。社会全体で若者が減り、北陸学院短期大学の学生も少なくなりました。国をはじめ自治体の財政が苦しくなり、私学への助成も減額されつつあります。何よりも、若い人たちが、将来に希望を抱きにくくなっています。進路に迷い、どう生きるべきか、悩んでいます。学力や能力を培うだけでなく、人間として成長させる真の教育が求められています。

北陸学院短期大学は、変わらないキリスト教信仰に立ちながら、学びと成長のための新しい道に踏み入ろうとしています。男女共学化が始まり、すでに人間福祉学科に男子学生が入学しました。新しい息吹をもたらしてくれています。また来春には北陸学院大学の開学となります。短期大学は、短期大学部と名称を変更し、食物栄養学科とコミュニティー文化学科を置きます。四年制の大学には人間総合学部を設け、現在の保育学科を幼児児童教育学科に、人間福祉学科を社会福祉学科へと改組します(いずれも仮称・認可申請中)。幼稚園から小学校、中学と高校、さらに短期大学と四年制大学までを備えた総合学園に生まれ変わろうとしています。

もちろん教育は、人と人との人格的な触れあいなくしては成り立ちません。学生と教職員が、学院の主でいらっしやるイエス・キリストに結ばれ、一つとなることが、中心です。各部局が有機的に結びあい、責任と愛情をもって魂の成長を見守ることが欠かせません。北陸の諸教会との連携も強めたいと願います。さらに同窓生の皆さんの祈りと支えを必要としています。学院の現状と進路をお伝えしてまいります。忌憚のないご意見をお寄せください。そしてどうか学院をおぼえ、お祈りくださいますように、お願い申し上げます。

(くすもと・しろう/キリスト教組織神学)

楠本 史郎(くすもと しろう)先生 1951年 東京都生  
東北大学経済学部、東京神学大学院修士課程卒業後、  
日本基督教団金沢教会伝道師、輪島教会牧師、  
若草教会牧師を経て、本年4月に学院長に就任。  
著書 『教会に生きる』、『教会役員ハンドブック』  
(いずれも日本基督教団出版局)  
訳書 PTフォーサイス『フォーサイスの説教論』  
(ヨルダン社)

新しい大学の  
設置をめざして

学長 三浦 正



学校法人北陸学院の高等教育に対する方向が決まりました。新しい大学の設置と男女共学体制の実施です。

本学院は、幼稚園から小学校、中学校、高等学校そして短期大学をもつ、キリスト教(女子)総合学園の形態を1950年の短期大学発足と同時にとってきました。今日多くの短期大学が1965年代以降相次いで設立開学されたことを思うと、戦後の6・3・3制「学校教育法」施行後、3年にして(1965年)短期大学を発足させた本学院先人たちの知見と勇気に敬意を表したいと思います。爾来、50有余年、我が国の新潟以西、日本海側地区にある唯一のキリスト教(女子)総合教育機関として多くの有為な人材を世に送り出してきました。

北陸学院は、幼稚園と小学校は共学、中学校から短期大学までは女子校という、教育一貫校としてはやや変則的な体制にありました。しかし中学・高等学校はすでに6年制一貫教育の共学体制に改革しました。短期大学もその方向に向かうべく、本年度(2007年度)に人間福祉学科のみ先導的試行で共学を実施しました、2008年度以降は全学科共学体制に入ります。

2008年度に発足する予定の新しい大学名称は、北陸学院大学です。一学部二学科編成で人間総合学部、幼児児童教育学科(100名)、社会福祉学科(80名)となります。短期大学は、食物栄養学科(80名)、コミュニティー文化学科(80名)の二学科構成となります。これに伴い、保育学科、人間福祉学科は2008年度以降募集停止となります。なお、大学が開設されますと現北陸学院短期大学は、北陸学院大学短期大学部と名称変更の予定です。

これで本学院は、幼稚園から大学までの文字通りのキリスト教総合教育機関となります。我が国の「キリスト教学校教育同盟」加盟校の中では、大学は56番目、幼稚園から短大・大学とつながる総合教育機関としては8番目の学校となります。(みうら・まさし)

2008年4月

北陸学院大学誕生

人間総合学部スタート(設置認可申請中)

相手の立場やこころを理解して、支援出来るヒトに。  
北陸学院大学は、コミュニケーション力と  
主体性をもったオトナを育てる大学です。

## 名門の新生

前理事長・学院長 井上良彦



学院は、北陸における女子教育の名門である。幼・小は以前から男女共学であったが、21世紀に入り、中・高・短大としてやがて大学と、すべて男女ともに共学学園になった。(私が北陸に呼び戻されて、桜前線とともに金沢に帰ってきたのは、2001年春であった。それから学院は陣痛の苦しみに耐えてきた。そして、園長・校長、学長、院長のすべてが、新しく変わった。)

「名門」とさきほど書いたが、かつて一億総中流化のなかで無差別平等主義を偽装した時代には、これを咎める人たちがいた。私は気にしない。

名や誇りは「ノーブレス・オブリージュ」(高貴なるものが負うべき義務と責任)の対価である。その犠牲の精神が無いなら、名は単に腐った果実にすぎない。

私事にわたるのを許していただくが、一つの人生経験をした思いで、今すごしている。妻が日曜日の教会礼拝中に、救急車で運ばれた。当直の医師は、今後の入院生

活をたずねるのに対して、「明日はありません」と叫んだ。大動脈乖離という診断だ。設備と手のある大学病院に、点滴を手に医師も搬送車に乗り込んだ。途中で命つぎる例も多いという。休日なのに招集された医療チームによって、七時間におよぶ手術は終わった。好運と決断と愛情と技術によって、妻はいのちを救われた。各地から(一組はシカゴから)5人の子らと年長の孫たちが駆けつけてきて、期せずして家族の絆のリユニオンとなった。この片隅の経験は、母という存在の力と愛を、私に感じさせた。

母校と呼び alma mater と唱う皆さんの学院は、いま再生の途上にある。いや産みの苦しみをしている。その中には、男子の教育、男も育て上げる、という大きな悦ばしい課題がある、と同窓の方々のノーブレス・オブリージュの高まりを深く願っている。

## Realizing My Mission

元英語科・英語コミュニケーション学科・コミュニティ文化学科学科長  
英語科12回生

澁谷良穂



私は英語科12回生であり、また英語科に常勤・非常勤として長く勤め、大隅先生が学長になられてからは学科長として英語科、英語コミュニケーション学科、コミュニティ文化学科におりましたので、短大とのつながりは何十年にもなります。その間、さまざまな場や機会を通して多くの学生・同窓生の方々と交わらせていただきました。

在職中はキャンパスでの学生との触れ合いや授業、行事はもちろんのこと、卒業生と街中でばったり会って近況を聞かせてもらったりしたこともよい思い出となっております。今も電話やメールでやり取りをしている卒業生もいますが、こういった卒業生との交流は私にとってかけがえのない宝となっております。また、特に学科長としての在職中、同窓生の皆様方の温かいご支援やご理解をいただけたことには言葉で言い表せないほどの感謝の気持ちでいっぱいです。長く母校である北陸学院短期大学で好きな英語を教えられたことは、本当に幸せでした。

現在は地域の英語教育に関連した仕事などもさせていただきながら、金沢医科大学医学部で教鞭を取っておりますが、「英語教育を通しての地域貢献」という自分の使命(Mission)の実現(Realize)に向けて働けていることがとても嬉しく、日々楽しく仕事しております。最後に、この場をお借りしてこれまでお世話になりました多くの方々に心よりお礼申し上げます。

## 子ども達とともに

元保育学科助教授

菅原 創



北陸学院で短期大学の教員として9年間お世話になりました。その間に、附属幼稚園の副園長や幼児児童教育研究所の所長など様々な職務を経験させていただき、感謝しております。現在は、東京都江戸川区にある江戸川双葉幼稚園の副園長として、毎日子どもたちと過ごしております。

もともと、大学では法律を学んでいましたが、両親が幼稚園を経営していたことや、アルバイトで学習塾の講師をしていたことなどから、次第に教育に興味を持つようになり、大学院に進学しました。そこで幼児教育を専攻したのですが、修了時に指導教員から大学に残るように勧められ、大学教員としてのキャリアが始まりました。

北陸学院に移ってからは、専門の授業や研究だけでなく、保育関係の団体の研修や保育行政などにも関わらせていただき、非常に学びの多い時を過ごすことができました。このような仕事をさせていただくことができたのは、諸先生方のご理解とご協力があったのことと感謝しております。

また、周りの先生方からの影響もあり、きちんと教会生活を送るようになりました。今までは気が向いたときしか教会に行かない生活をしていたのですが、たゆまずに奉仕の心を持ち続けることの大切さと、そのような生活の喜びを感じることができるようになりました。

ここでの経験と学びを生かし、これからは地域の幼い子どもたちのために、尽くしていきたいと思っております。

葛葉有希子さん

2000年度卒業  
人間福祉学科1回生

卒業してから6年が経ち、今年度よりご縁があって母校に戻ってきました。立場は違いますが変わらない教室や風景を懐かしく感じ、恩師である先生方と共に過ごす時間を幸せに感じている今日この頃です。学生だった頃と変わらずパワフルな先生方を尊敬し見習う毎日です。



現在の学生の状況はというと、学生数の減少は少子化の影響を受けて致し方ない面もありますが、人間福祉学科の男女共学においては新鮮さがあり、良い活気づけになるのではないかと感じております。

卒業してから高齢者福祉に携わり、命の尊さや自分らしく生きるという事、様々な事を高齢者の方から学ばせて頂きました。高齢者の方が教えて下さった事を無駄にしないために、今後の福祉を担う学生達に熱い精神を持ってもらえるように、同じ志しを持つ仲間が充実した生活を送ることが出来るように、今私に出来ることを精一杯頑張りたいと思います。

黒杉 茂子さん

1981年度卒業  
教養学科13回生

北陸学院短期大学全同窓生の皆様、お世話になっております。

2003年度より同窓会庶務として三小牛にありませ短期大学チャペル横のライザー記念館2Fにて、月・水・金勤務しております。

思い出せば1982年3月に教養科を卒業後、同年4月から1988年3月まで短期大学へッセル記念図書館に勤務、結婚退職後は能登へ。出産後夫の転勤にて再び金沢へ戻ってまいりました。その後縁あって同窓会にて勤めさせていただいております。

久しぶりの母校は、まるでタイムスリップしたように昔と変わらぬたたずまいで私を迎えてくれました。ここ数年、子どもの受験や親の病気等日々立ち止まることなく過ごしてまいりました。しかし、チャペルの明かりを眺めつつ、学生たちの讃美歌をきいたり、行きかう学生たちの笑顔を眺めてますと昔が思い出されます。一日一日の時間がゆっくりと流れ、今日という日が間違いなく幸せな未来につながっていると信じられた時代でした。

北陸学院に教養科がなくなって2年がたちます。寂しい反面、当時熊本先生の助手だった末永さんは非常勤講師として健在です。また北短祭時に同窓会行事もありません(蚤の市等)、クリスマス会等も行っておりますので、皆様どうぞおこし下さい。

河崎 純子さん

1998年度卒業  
英語コミュニケーション学科34回生

カナダのバンクーバーに住むこと一年八ヶ月。英語科卒業九年目にしてようやく英語を喋れるようになりました。思えば、短大と英会話学校を掛け持ちしていれば、卒業後すぐに海外へ飛べたものを、と自分の選択に多少の失敗感はあるものの、結果オーライ、二十代後半でその分を取り返すことに成功しました。これにて私の海外冒険活劇に終止符を打ち、地元金沢で腰を落ち着かせようかというところです。

バンクーバーは移民の街。様々な民族がモザイクを形成し和を保っています。白人は勿論、ラテンアメリカ系、アジア系、ヨ-



ロッパ系と何でもござれ。見た目は中国人でも中身はカナダ人だったり、日系人なのに日本語が喋れなかったりetc. 多種多様な価値観を肌で感じ、その人達との付き合い方を体得して参りました。

日本人の考え方は比較的一辺倒で帰国したての私には少々物足りないのですが、直に慣れるでしょうし、この同一価値観が生み出す日本人パワーが作り出した商品が世界中を駆け巡っているのを海外で目の当たりにしました。日本は思っているより凄いのです。つくづく日本人で良かったと実感する今日この頃。

中條 幸恵さん

2001年度卒業  
食物栄養学科38回生

私が短大を卒業してから、5年という年月が経ちました。就職活動していく中で、縁あって地元の行政栄養士となり、今年で早6年目になります。

入って間もない頃は、栄養士としてこの職場に入ったという思いの方が強かった私は、行政としての自分の立場と、栄養士としての立場に日々葛藤していたのを覚えています。

しかし今は、行政であり、栄養士であるということのことを念頭にいたうえで物事を考えることができるようになったと思います。

最初の頃は、何もかもが初めてで、手探りの状態でした。自分の力量のなさを痛感し、事業がある度に心配で、やっとの思いでこなしていたという気がします。

次第に経験を重ね、慣れてくると、大変な中にもやりがいも感じながら、取り組むことができるようになってきたように思います。

次々と制度も変わっていく中、昨年の2月には市町合併という大きな節目を迎えました。そして、ようやく軌道にのり、落ち着いてきた頃に、突然起こったのが、まさに地元を震源とする、能登半島地震でした。突然起こった非現実的な夢のような出来事に頭が真っ白になり、戸惑ったのですが、そんな中、支えてくれたのが他の分野で活躍している仲間でした。栄養士とは一人職種ばかりだと思っていましたが、その時は、一人ではない、支えてくれる方々がこんなにもいるんだ、ということを感じ、頼もしく思いました。栄養士として、被災されている方たちのケアに携わることができたのは、そんな皆さんの協力があってこそできたことだと感謝の気持ちでいっぱいです。この度は、本当にたくさんの方々にご協力賜り、深く感謝申し上げます。これからも復興にむけて少しでも力になれるよう、私もスキルアップを図りながら、頑張っていきたいと思ひます。

河村 知恵さん

2005年度卒業  
保育科55回生

私は二度、北陸学院短期大学を卒業しました。一度目は人間福祉学科です。ここでは自分より何倍も歳を重ねた方々に対して敬意を持って接することや介護を行うにあたっての実際に必要な方法を学びました。

卒業後は、児童と関わる仕事に就きました。そこで私は子どもの素直さや無邪気な笑顔に触れる日々の中で自分が子どもたちにしてあげることを持っていないこと・無力さを痛感したと同時に責任ある仕事をするという社会の厳しさに押し潰されそうになりました。そんな時に手を差し伸べてくださったのが人間福祉学科の先生方でした。私の悩みを聞いて一緒に考えてくださった事で私は支えられました。感謝の気持ちでいっぱいです。そして考えた末に出した結果がもう一度短大で保育を学ぶという事でした。

保育学科では、学校で学んだ事を保育園・幼稚園実習で行い教科書との違いを身をもって体験することが出来ました。

この二つの学科を経験して思うことは、技術などの学びもありますが、それと共に自分の周りの方を思い支えることの大切さ、また自分自身も支えられていることへの感謝を忘れずにいたいということです。



# 栄光台をたずねて

## ■ コミュニティ文化学科

第一期生が卒業しました。

コミュニティ文化学科 学科長 後藤田遊子

コミュニティ文化学科は、文部科学省が推奨する「地域総合科学科」プランを参考に、英語コミュニケーション学科と教養学科が改組転換することにより、2005年に開設されました。本学科では学科を特定の専門分野に限定せず、多様な科目を設置し、社会で役立つ資格や検定対策講座などを整備して、学生に幅広く学んでもらいます。この短いモラトリアム期間を有効に利用して、学生たちは「なりたい自分」探し（進路選択）が出来るよう一人ひとりに合った適切な指導を受けながら、自ら進んで進路選択に取り組みます。

第一期生103人がこの3月に卒業しました。進路希望

者の大多数が地元企業に就職し、全体の2割近い学生が名古屋大学などの4年制大学編入、専門学校進学、姉妹校への留学などで勉学の幅を広げ始めています。

本学科と他の短期大学との差別化をはかるならば、北陸学院独自の人間教育に尽きると思います。学生たちに2年間の学びに関する「満足度調査」を実施したところ、キリスト教教育への満足度がとても高いことに驚きました。また、英語を「色々な方向から学べた」というコメントがありました。学生の調査回答結果は、本学の伝統ある英語教育・教養教育が現学生たちに、多角的に継承されていることの証しであると確信いたしました。このことを嬉しく思いご報告いたします。

第一期生の多くが自分に合った進路選択をして、誇らかに卒業していきました。同窓会の皆様のご支援を心から感謝申し上げます。

## ■ 人間福祉学科

地域社会の期待に応えるために

人間福祉学科 学科長 真砂 良則

3月に本学科を巣立った7期生も、1期生から継続中の就職率100%を達成し、高齢者や障害者の福祉施設、病院等で社会人としての第一歩を踏み出しています。先輩の卒業生たち同様、福祉の一翼を担うべく、それぞれの地域での活躍を期待しています。

さて、本学科では、今年度から北陸学院短期大学として初めての男女共学がスタートしました。男子学生はクラス全体の1割強の人数ですが、存在感を示しつつも、

違和感なく短大の雰囲気になじんで、勉学に励んでいるようです。近年、介護福祉士を目指す男子も増えるなか、男子の養成に対する地域からの要望に、漸く応えることが出来るようになったと思っています。

来年4月には、いよいよ北陸学院大学が開設予定です。本学科は、同大学の社会福祉学科として生まれ変わります。介護福祉士資格取得をはじめ、社会福祉士と精神保健福祉士（両方とも受験資格）、認定福祉士資格が取得可能となりますが、深い人間理解の上にたち、こころのサポートが出来る福祉人の養成を目指しています。

今後とも、同窓会の皆様の御支援をよろしくお願い申し上げます。

## ■ 食物栄養学科

新たな目標、再び攻勢

食物栄養学科 学科長 坂井 良輔

最初に今年度第21回管理栄養士国家試験において現存する北陸三県栄養士要請施設ではナンバー1の合格者、合格率を記録しました。これも、本学出身の受験生の基礎学力と目的意識の高さが相まったの結果だと思えます。さて、「健康日本21」中間評価報告書では管理栄養士は生活習慣病の予防のために個人の身体状況や栄養状態等を総合的・継続的に判断し指導できるような力

をつけることの重要性が示されました。そのためには学生の最新の知見を得ようとする欲求、科学的根拠に基づいた適切な教材開発と使用能力、効果的な保健指導方法を創意工夫できる創作力、ともに考えて確実に行動変容につなげる支援能力、等の能力を伸ばすことが必要です。特に「ともに考えて確実に行動変容につなげる支援能力」はミッションスクールでしか行われぬ宗教教育において培われる部分が少なからずあると考えます。このような視点にたって学生を教育して行きたいと思っております。また来年度から男子学生を受け入れます。”北陸学院印”の男性栄養士はどんな活躍をしてくれるのでしょうか？皆様期待してお待ち下さい。

■ 保育学科

栄光台の薫風 爽やかに

保育学科講師 吉田 若葉

2007年度、保育学科は91名の新入生を迎え、58年目の歩みに入りました。今、幼児教育を取り巻く環境の変化は著しく、保育者養成校としての課題が山積しています。近年、若者のコミュニケーション能力の低下が指摘されていますが、特に実習の場などで、自分を表現することや子どもとのかかわりに苦労する学生が増えてきました。コミュニケーション能力は豊かな人間関係のなかで培われていくものです。最近の保育学科での試みとして、実習以外に子どもたちや親子との触れ合いを体験する機会として、施設や地域の行事へのボランティア活動を勧めています。春には、石川県子育て支援財団主催『子ども未来の城』や『石川県障害者スポーツ大会』に



参加しました。『子ども未来の城』では、ボディーパーカッションとボードビルをグループで演じ、ブースでは子どもたちと、手作り玩具、視聴覚教材、歌や楽器で楽しい触れ合いができました。『石川県障害者スポーツ大会』では、障害者の方たちのパートナーとして交わり、貴重な援助体験をすることができました。

2008年度より全学男女共学となり新しい第一歩が始まります。輝く若さで、爽やかな栄光台の薫風を、地域へ運んでほしいと願っています。

■ キャリアセンター

キャリアセンターより

キャリアセンター課長 田中 康司

企業は、不況の時代を経て、“付加価値の高い”“即戦力となる”学生を求めようになってまいりました。他方、学生の卒業後の進路はますます多様化してまいりました。そのような企業と学生の要求に応えるべくキャリアセンターが発足しました。

現在キャリアセンターには、4つの重要な機能があります。1番目は学生の就職活動支援の機能です。人を求める企業と職を求める学生のお世話をしています。また就職ガイダンスを実施し、自己分析を通して自己理解を深め、企業研究を通して企業理解を深め、延いては個々の学生が志望企業決定に至ることを目的としています。

2番目は、さまざまな資格検定試験を実施し、資格取得を支援する機能であり、個々の学生の付加価値を高めることを目的としています。3



番目はインターンシップ支援の機能で、在学中の企業研修を通して、就職意識を高め、企業理解を深めることを目的としています。そして4番目は編入学支援の機能で、本学卒業後、4年制大学の3年次への編入学を目指す学生を支援しています。

社会の成熟に伴い、企業の求める学生像はこれからも変化していくことでしょう。それらにこたえて、社会に役立つ人材を育成することがキャリアセンターの使命です。

クラブ紹介

ダンス部

ダンス部部长 中村 友紀  
(保育学科2年)

北陸学院短期大学ダンス部は、現在2年生11人、1年生12人の23人で活動しています。私達は、毎週木曜日17時から19時までで本学保育学科卒業生の木藤由麻コーチに基本的な動きのレッスンやダンスのフリ(動き)を教えていただいで練習しています。週1回2時間という少ない練習時間ですが、終わる頃にはみんな汗かかっています。

昨年は『金澤タぐれまつり』、『合同文化祭』に加え、他校の学園祭に多数参加させていただき、本学大学祭では素晴らしい舞台セットで踊らせていただきました。

また、3～5人のメンバーからなる個人チームにも多数の参加依頼を受け、様々なイベントに参加させていただき機会に恵まれました。このように充実した活動が思い切り出来ることに対して、本当に感謝の気持ちで一杯です。

私はダンス部をまとめていく上で、1人でも多くの部員がダンス部に入ってよかったと思ってもらえるようにしたいと考えています。そのためには楽しいことだけでなく、社会に出ても通用するような礼儀や相手を思いやる気持ちが活動を通して身につく場にしたと考えています。

ダンス部は今年で結成5年目になります。これからも同窓生の皆様方に応援していただけるような部活動になるよう頑張りますので、是非ご支援、ご声援をいただきますようお願い申し上げます。

◇ 2007年度総会報告 ◇

2007年5月26日(土) 開催 於 レストランMEGU

本年は短期大学にとって男女共学初年度、また来年度に向けて4年制大学設置を目指している、まさに正念場となる年と受け止めて、総会でもそのことに重点をおきました。



また、3月を以って理事長、学院長を退任された井上良彦先生、任を引き継がれた楠本史郎先生への感謝と歓迎の時を持ちました。

三浦学長をはじめ、部科長の先生方、事務の責任の方々をお招きし、厳しい状況の中、4年制化のための昼夜を分かたず働いておられることをうかがいました。

お話から伝わる志と熱意は会場を包み、出席した私たちも何とかして助力をしたいとの思いを強くしました。

【総会次第】

- 礼拝 井上良彦学院長
新旧理事長・学院長への感謝と歓迎
同窓会長挨拶 森 正栄

【議事】

- ① 2006年度行事報告
② 2006年度会計報告および監査報告
③ 役員選任
④ 2007年度行事計画案審議
⑤ 2007年度予算案審議
⑥ その他 質疑など

◆懇親昼食会



2007年度 北陸学院短期大学同窓会役員名簿(案)

Table listing the names and departments of the 2007 executive committee members, including positions like President, Vice President, Secretary, Treasurer, and various department heads.

【2006年度(2006.4.1~2007.3.31)活動報告】

- 2006.5.27(土) 第6回同窓会総会
出席者数:教職員5名・同窓生66名 計71名
会報「栄光台の薫風」第6号発行
2006.7.22(土) 会報発送作業 役員・回生委員
2006.11.2(木) 同窓会賞授与式
2006.11.3(金) チャペル前のロビーにて同窓会スペシャルコーナー開催
2006.12.16(土) クリスマス礼拝 奨励者 三浦正学長
会場:番匠鐵雄記念礼拝堂 食堂 教材室
同窓会入会式(卒業礼拝に引き続き 新入会員346名)

【2007年度(2007.4.1~2008.3.31)活動予定】

- 2007.4.7(土) 役員会 新役員組織
2007.4.21(土) 役員・幹事会 新年度活動・行事計画
予算審議 会報編集概要
2007.5.12(土) 役員会 総会資料作成 諸準備
2007.5.26(土) 第7回同窓会総会
2007.6.(土) 役員会 会報発送作業 日程など
2007.7.15(日) 会報「栄光台の薫風」第7号発行
2007.7.21(土) 会報発送作業 役員・回生委員
2007.9.(土) 役員会 クリスマスその他について
2007.11.1(木) 同窓会賞授与式
2007.11.3(土) 蚤の市
2007.12.15(土) クリスマス会
2008.1.(土) 役員会 次年度役員人事 総会日程 その他
2008.3.17(月) 同窓会入会式(卒業礼拝に引き続き)
2008.3.(土) 役員会 年度末および新年度当初の諸事項について

2006年度 北陸学院短期大学同窓会 収支決算報告書

一般会計 自:2006年4月1日~至:2007年3月31日 (単位:円)

Table showing the income section of the 2006 financial statement, including items like membership fees, Christmas contributions, and other income.

\*その他財産目録 期首(2006.4.1) 期末(2007.3.31)
定期預金 ¥19,720,572 ¥18,722,608
定期貯金 ¥10,000,000 ¥10,000,000

Table showing the expenditure section of the 2006 financial statement, including items like general activities, Christmas services, administrative expenses, and other costs.

特別会計(奨学援助資金)

Table showing the special account for student aid, including income and expenditure details.

上記決算は適正且つ正確に行われたことを認めます。
2006年5月14日

監査 高島 涼子
監査 須加 二葉子

2007年度 北陸学院短期大学同窓会 収支予算(案)

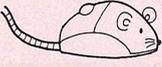
一般会計 自:2007年4月1日~至:2008年3月31日 (単位:円)

Table showing the income section of the 2007 budget, including membership fees, Christmas contributions, and other income.

Table showing the expenditure section of the 2007 budget, including general activities, Christmas services, administrative expenses, and other costs.

特別会計(奨学援助資金)

Table showing the special account for student aid budget, including income and expenditure details.

 **Click! 短大通信** 

**Open Campus'07** **開催カレンダー'07**

	7月	8月	9月	11月	12月
<b>体験会</b> 目標に向かって一直線！ 大学・短大の授業を体験しよう 各学科の特徴が分かる模擬授業や体験ツアーを実践。 それぞれの目標へとつながる学びを体験できます。	<b>14 (土)</b> 13:00~16:00 <b>16 (月・祝)</b> 10:00~15:00	<b>4 (土)</b> 10:00~15:00 <b>6 (月)</b> 10:00~15:00	<b>17 (月・祝)</b> 10:00~15:00		<b>8 (土)</b> 13:00~16:00
<b>見学会</b> ひと足早く学生気分！？ キャンパスライフを実感しよう キャンパス施設を見学したり、入試やカリキュラムの 内容を聞いたり、北陸学院ライフをイメージできます。		<b>11 (土)</b> 13:00~16:00			
<b>相談会</b> 入試やキャンパスライフのこと、 何でも気軽に聞いてみよう 相談コーナーを開設。入試や資格、サークルなど、 何でも気軽に聞くことができるチャンスです。 <small>大学祭と同時開催</small>				<b>3 (土・祝)</b> 10:00~15:00 <b>(2 (金)・3 (土))</b> 大学祭	

日程によって内容は異なります。詳しい情報は、北陸学院短期大学ホームページまで <http://www.hokurikugakuin.ac.jp>

【お問い合わせ先】 北陸学院短期大学 入試広報課 〒920-1396 金沢市三小牛町イ11番地  
TEL&FAX 076-280-3855 E-mail nyushi@hokurikugakuin.ac.jp

**2007年度 北陸学院連続公開講座**

- 総主題：「いのちの重さと輝き」
  - 講師及び講座予定日時：2007年9月から2008年2月まで毎月1回土曜日、14:00~16:00
- |  |  |            |
|--|--|------------|
| 2007. 9.15 金森 俊朗 氏<br>(前金沢市立西南部小学校教諭)              | 子どもと共に学ぶことの魅力<br>「いっしょにハッピーに生きようぜ!」の教育     | 北陸学院高校 栄光館 |
| 10.27 早瀬 圭一 氏<br>(毎日新聞客員編集委員、東洋英和女学院大学・大学院教授)      | 末期ガンの女医 小倉恒子<br>「限りある命を生きる」                | 北陸学院高校 栄光館 |
| 11.17 丸山久美子 氏<br>(聖学院大学人間福祉学科教授)                   | 「対象喪失と喪の仕事」                                | ジョブ・カフェ    |
| 12.15 吉井 光信 氏<br>(東京都精神医学総合研究所客員研究員(前・精神生物学研究分野長)) | 「高齢化社会と鬱病」                                 | ジョブ・カフェ    |
| 2008. 1.19 松倉 達夫 氏<br>(前中部女子短期大学、現公益法人研究会役員)       | 社会福祉法人の会計に関連して<br>社会福祉法人の会計は「役に立って面白い」     | ジョブ・カフェ    |
| 2. 9 下山田裕彦 氏<br>(大妻女子大学家政学部教授)                     | 「絵本・かばんくんのふね」にみるいのち<br>の重さと輝き 一不条理の世界を考えるー | 北陸学院高校 栄光館 |

**英語研究センター主催講演会**

開催日程：2007年7月28日(土) 14:00~15:30  
場 所：北陸学院短期大学  
講 師：大杉正明氏(清泉女子大学英語英文学専攻教授、元NHK教育テレビ「いまから出直し英語塾」講師、現NHKラジオ「ものしり英語塾」講師)  
演 題：やり直しの英語：出直し英語塾  
対 象：学生、小中高英語教師、卒業生、他

**管理栄養士国家試験受験準備講習会**

次のように管理栄養士国家試験受験準備講習会を計画しております。日程等の詳細は7月15日以降に本学ホームページに掲載いたしますのでご覧ください。

開催日程：2007年8月25日(土)、9月1日(土)、8日(土)、15日(土)、22日(土)、29日(土)  
各日午前・午後の12回  
場 所：北陸学院短期大学  
参加費用：本学卒業生は受講料は無料ですが、教材費及び資料代が必要になります。

第21回管理栄養士国家試験結果が発表されましたが、昨年に続き本年も本学同窓生が健闘し、北陸3県の養成校4校の中では合格率、合格者数ともにトップでした。(専攻科を除く)。同窓の皆様で受験資格をお持ちの方もこれに続くよう頑張りましょう。

**【教員の異動】**

<b>退 職</b>			
学院長	井上 良彦 教授	人間福祉学科	吉藤 都 講 師
コミュニティ文化学科科長	澁谷 良穂 教授	コミュニティ文化学科	前垣内紀三子 実験実習助手
保育学科	菅原 創 助教授		
保育学科	小山 祥子 講師	<b>新 任</b>	
保育学科	柳澤亜希子 講 師	学院長	楠本 史郎 教 授
		保育学科	瀬川 義明 講 師
		人間福祉学科	葛葉有希子 実験実習助手

# 同窓会よりのお知らせ

## 同窓会奨学金献金への感謝と 援助資金献金の感謝と更なるご協力を！

同窓生の皆様には、折にふれ同窓会活動へお心を留めて頂きまして、心より感謝申し上げます。

昨年也会報発送後、時期を移さず多くの皆様方より賜りました献金を有効に活かすべく、本年3月の能登中島地震の罹災学生支援として、奨学金支給を母校にお伝え致しましたが、幸いにも罹災家庭が少数であったため、お礼のお言葉に止まりました。

この4月、福祉学科へ入学の初男子学生6名は、北陸三県短期大学体育大会に、女子学生3名を交えてチームを組み、ソフトボール競技にエントリーし出場予定との事、その他クラブ活動も仲々の活躍を聞いております。

学院報によりご承知のように、2008年4月北陸学院大学のスタートに向け、学院は一致協力の体制はもとより、周辺各位の御協力も頂いております。

同窓生の皆様におかれましても、短期大学の先輩としてたとえ一人一人は小さくとも、連帯の力で、今の母校と在学生に貢献できます様、今年も「同窓会奨学金資金」「学友会クラブ活動援助金」による献金をお願いさせていただきます。同封の郵便振替票にて、何卒ご協力賜りますよう、お願い申し上げます。

会長 森 正栄



## 北陸学院短期大学同窓会 の 蚤の市

北短祭の一般公開にあわせて今年も秋に開催されます。

日時 2007年 11月3日(土)

午前9:30～ 売り切れ次第終了

場所 北陸学院短期大学構内ライザー記念館

～ご家族、ご友人お誘い合わせお越しください～

コーヒー/紅茶/手作りクッキー・ケーキもあります。

懐かしい方々との再会をお楽しみください。

ぜひ 献品にご協力ください！

9月初旬～10月中旬

★ 献品の品 ★ 日用雑貨品、衣類等

(新品のものをお願いします)

★ 献品の方法 ★ 同窓会事務局へ持参または郵送  
(短大同窓会事務局宛)

### 一 感 謝

### 奨学援助資金のための献金をお寄せいただいた方々 (2006年7月～2007年5月)

青島 博子 (保育 1)	大久保直子 (保育 10)	松井こづえ (保育 25)	山村美智子 (栄専 5)	浜田 孝子 (食栄 4)	中田 真樹 (食栄 26)	茂木 隆子 (教養 3)
秋山 星子 (保育 1)	三和 雅子 (保育 10)	宮下 京子 (保育 25)	奥村 一公 (栄専 6)	久木 嘉子 (食栄 4)	水口志津香 (食栄 42)	小出千夜子 (教養 4)
飯田 米子 (保育 1)	茶幡 昌子 (保育 12)	改田 陽子 (保育 26)	沢田 靖子 (栄専 7)	高井 明子 (食栄 4)	内山久美子 (食栄 42)	大石 知恵 (教養 5)
小中 輝子 (保育 2)	深谷 英子 (保育 12)	大浦 桂子 (保育 26)	中村 祥子 (栄専 8)	田中 裕子 (食栄 4)	水永 和子 (英語 2)	田井 敏江 (教養 6)
寺井 治子 (保育 2)	松田 寧子 (保育 12)	片山まどか (保育 29)	柿沢 澄子 (栄専 9)	砺波 恵子 (食栄 4)	中村栄美子 (英語 2)	青山 康子 (教養 7)
鈴木 優子 (保育 3)	江尻美根子 (保育 12)	松本由香乃 (保育 31)	隆 文子 (栄専 9)	三井 玲子 (食栄 4)	星 恵子 (英語 3)	野村 啓子 (教養 8)
森 正栄 (保育 4)	影近 伸子 (保育 12)	島田裕香子 (保育 32)	石崎 静江 (栄専 9)	金子 量子 (食栄 4)	柴田アサエ (英語 4)	寺口 良美 (教養 11)
小川 和子 (保育 4)	多島 満子 (保育 12)	新保 和子 (保育 35)	近岡 美寿 (食栄 1)	三井恵美子 (食栄 4)	野坂 裕子 (英語 7)	坂本 美雪 (教養 13)
芦谷 玲子 (保育 4)	今井真喜子 (保育 13)	宮崎 順子 (保育 35)	高田 豊子 (食栄 1)	安江八重子 (食栄 4)	野坂佐知子 (英語 8)	飯野 昌子 (教養 13)
斉藤 千代 (保育 4)	堀 悠紀子 (保育 15)	勇 智子 (保育 38)	関 智恵 (食栄 2)	中藤美和子 (食栄 4)	奥野 道子 (英語 8)	高井 章子 (教養 14)
大平マツ子 (保育 4)	鍋島のぶ子 (保育 16)	船本 晴代 (保育 51)	櫻井 庸子 (食栄 2)	上田富士恵 (食栄 5)	西出千代美 (英語 10)	村田 裕子 (教養 21)
大窪 博子 (保育 4)	土代久美子 (保育 16)	東崎 恵美 (保育 51)	綿谷 信子 (食栄 2)	長井 素子 (食栄 5)	藤田 幸子 (英語 12)	吉野 彩子 (教養 35)
神沢みな子 (保育 5)	川畑紀代美 (保育 18)	山本 美奈 (保育 53)	北門 善枝 (食栄 3)	京田百合子 (食栄 5)	高辻 淑子 (英語 12)	安念知久早 (教養 35)
神社 秋子 (保育 6)	吉田 若葉 (保育 18)	東崎 美紀 (保育 53)	小橋 雅子 (食栄 3)	宮丸 慶子 (食栄 5)	倉谷智鶴幸 (英語 13)	山本真理子 (福祉 1)
加藤 倫子 (保育 6)	羽田 静代 (保育 18)	山本 千佳 (栄専 1)	久世 睦子 (食栄 3)	久家三重子 (食栄 6)	神戸 敏恵 (英語 14)	玉川 雅子 (福祉 1)
山敷 紀子 (保育 6)	沢田 重美 (保育 18)	高田 栄子 (栄専 2)	岡田 俊子 (食栄 3)	新澤 祥恵 (食栄 6)	角 智子 (英語 17)	吉野 麻子 (福祉 1)
茶谷 禎子 (保育 6)	津田千代子 (保育 18)	間口まさ子 (栄専 2)	松田 寿子 (食栄 3)	高村 百代 (食栄 6)	松本 淑子 (英語 18)	笹川 和美 (福祉 6)
小川 信子 (保育 7)	吉崎 優子 (保育 19)	加藤千鶴子 (栄専 2)	森井由美子 (食栄 3)	川本登美子 (食栄 7)	浜田 洋子 (英語 20)	三浦 正 (教員)
大家美佳子 (保育 7)	中金 千里 (保育 19)	竹田 佳子 (栄専 2)	山本 和子 (食栄 3)	橋本 紀子 (食栄 7)	松本かおり (英語 27)	
牧野 弘美 (保育 8)	川北 喜美 (保育 20)	渋谷 陽子 (栄専 3)	小杉 直子 (食栄 4)	高木 一子 (食栄 11)	米林 円 (英語 31)	
松本 敦子 (保育 8)	平野 睦子 (保育 21)	杉野 寿子 (栄専 3)	中山 尋美 (食栄 4)	荒木真佐美 (食栄 12)	山田 直子 (英語 32)	ご芳名もれがあり
森 みどり (保育 9)	山崎美枝子 (保育 21)	小泉 みな (栄専 3)	斉藤美智子 (食栄 4)	北村 靖子 (食栄 13)	村井 美枝子 (英語 39)	ましたら事務局へ
石田満寿美 (保育 9)	大房 和子 (保育 22)	武田 律子 (栄専 3)	川井真由美 (食栄 4)	黒田 朝子 (食栄 17)	横山 康子 (教養 1)	お知らせ下さい。
桐本真智子 (保育 10)	辻川 恵子 (保育 24)	綿谷 輝子 (栄専 5)	伊禮 房子 (食栄 4)	宮本 礼子 (食栄 18)	北野 陽子 (教養 2)	

計 162名 総額 740,100円

### 同窓会事務局より

同窓会の活動に関するご質問・ご要望・ご提案などがございましたら、どんなことでも同窓会事務局までお寄せください。

- ◇開 室 日：毎週月曜日、水曜日、金曜日
- ◇開 室 時 間：午前9時～16時
- ◇事務担当者：黒杉 茂子

#### 【住所等変更のご連絡について】

①氏名(旧姓) ②卒業学科名、年度 ③住所 ④電話  
を明記の上、書面、ファックス、メールのどれかでご連絡ください。  
お電話でのご連絡は受付かねますので、ご協力のほどよろしくお願い  
します。  
町村合併に関する住所変更については、県内に関しては追いつき更新し  
ておりますが、県外に関しては、なかなか手が回らない面もありますので、  
お気づきの点ございましたら、ご一報お願いします。

※会員名簿については個人情報保護法にもとづき、事務局で責任をもって管理しております。

### クリスマス礼拝

XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

日 時

2007年 12月15日(土)

午後1:30～(受付1:00～)

場 所

三小牛キャンパス内  
番匠鐵雄  
記念礼拝堂



礼拝後に教材室(短期大学本館2階)でクリスマスカード作りを計画しています。

(実費500円程度ご負担下さい)  
共にイエスさまのお誕生日を覚え「喜びと感謝のひととき」を過ごしたいと思っております。  
皆様のご参加をお待ちいたしております。

#### ■編集後記

多くの皆様のご協力により、「栄光台の薫風7号」を発行できますことを感謝いたします。お忙しい中、原稿をお寄せ下さいました先生方や同窓生諸姉には心よりお礼申し上げます。この会報が、同窓の皆様との繋がりを深めるものとなり、また、母校との架け橋となることを願っております。今後さらに充実したものととなるようメッセージをお寄せ下さいますようご協力をお願いいたします。

(編集委員：中島明美、森 正栄、小川和子、新澤祥恵)

2007年7月15日発行

発行：北陸学院短期大学同窓会

〒920-1396 金沢市三小牛町イ11番地

ライザー記念館内

TEL/FAX 076-280-3830

E-mail/ jcog@hokurikugakuin.ac.jp

印刷：活文堂印刷株式会社